

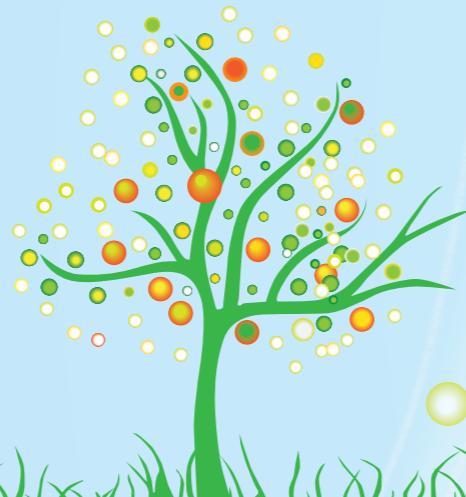
こころの樹

年報
事業報告 平成 26 年度（2014年度）

tv asahi welfare foundation

テレビ朝日福祉文化事業団

検索 



社会福祉法人 テレビ朝日 福祉文化事業団

Contents



はじめに

テレビ朝日福祉文化事業団は、テレビ朝日が設立母体となって1977年に民間放送系でははじめての社会福祉法人として設立され、これまで「児童福祉」「障がい者福祉」「高齢者福祉」「母子福祉」など、時代の要請に対応した様々な社会福祉事業を展開してまいりました。

近年、子どもや家庭を取り巻く環境が大きく変化し、少子化、DVなどの問題がクローズアップされてきている中、次代の社会を担う子どもの健全な育成に少しでも寄与できるよう、当事業団は児童福祉事業に力を注いでまいりました。幸い多くの方々にご理解、ご協力いただけるようになりました。平成25年度には、児童養護施設で生活している小学校5、6年生と中学生を対象に、「農村ホームステイ体験の旅」を立ち上げました。さらに平成26年度は、新たに母子福祉事業にも取り組み、母子生活支援施設で生活している親子を対象に、「母子のためのテレビ朝日見学体験ツアー」を実施し、たいへんご好評をいただきました。また、「高校生の海外生活体験の旅」(第14回)や「第3回子どもキラット！楽演祭」なども継続することができ、今では児童養護施設の“行事”として定着している施設もあるようです。

障がい者福祉事業では、当事業団創立当初の第1回から関わっている「第38回ハンディスキー全国親善大会」や「第37回車椅子バスケットボール秋季大会」がさらに回を重ね、第6回を迎えた「トゥレヴァン コンシェルト」は、一般の方にもご理解をいただいて大きなイベントとなってまいりました。

また、昭和62年度に始まった「高齢者施設訪問」は合計176回を数え、テレビ朝日本社の多目的スペース「u m u」を会場に、平成17年度から続いている高齢者の皆さんのが楽しめる「けやき坂カルチャー教室」は、平成27年度からは「地域における公益的な活動」として間口を広げて開催し、より多くの方々に参加していただきたいと考えております。

テレビ朝日福祉文化事業団は、2017年に創立40周年を迎えますが、これからもより一層、皆さまとともに「こころ」を一つにして、時代的、社会的なニーズに応える社会福祉活動を繰り広げていきたいと思っております。

多くの人びとの「こころ」に根づいた、優しさと思いやりの「樹」が、大きく育つことを願っております。

今後とも、皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団は、1977年NETからテレビ朝日への社名変更を機に、より幅広い社会福祉活動を目指して設立されました。1951年制定の社会福祉事業法（2000年社会福祉法に法名改正）に基づき、社会福祉の増進を図ることを目的として、第二種社会福祉事業を行う社会福祉法人として申請・認可されたものです。

● Pick up

第6回 トゥレヴァン コンシェルト 2～3

● 児童福祉 4～13

● 母子福祉 14～17

● 障がい者福祉 18～24

● 高齢者福祉 25～28

● 平成26年度事業一覧 29

● 平成26年度会計報告 30

● その他 31～33

平成26年度の新企画として、関東ブロック母子生活支援施設協議会のご協力を得て、母子福祉事業「母子のためのテレビ朝日見学体験ツアー」を実施しました。母子生活支援施設で生活するお母さんと子どもたちをテレビ朝日に招き、「サンデースクランブル」の生放送スタジオやニューススタジオ、美術セットなどを見学、テレビ局の食堂で昼食を楽しんでもらうというでの、参加者全員に大変喜ばれました。母子生活支援施設で生活する親子に日常を忘れ楽しい一日を過ごしてもらう企画として今後も継続していきます。

略語解説

(福)	社会福祉法人	(一社)	一般社団法人	(社)	社団法人
(特)	特定非営利活動法人	(公財)	公益財團法人	(財)	財團法人
(公社)	公益社團法人	(一財)	一般財團法人	(株)	株式会社

* Pickup

●第6回 トゥレヴァン コンチェルト

主催



花束を手に観客の拍手にこたえる出演者

「トゥレヴァン コンチェルト」は、障がい者福祉事業の柱として毎年行っているコンサートです。障がいを乗り越えながら音楽の道を歩んでいる方々に演奏する場を提供するとともに、その演奏を通じて「チャレンジする」ことの素晴らしさを知っていただくことを目的として、多くの皆さまのご支援とご協力を得て2009年から開始し今年度が6回目の開催です。



ロビーには盲導犬の姿も

秋晴れの中公演は大盛況

公演当日は秋晴れの清々しい天気。客席には車椅子や盲導犬を連れた方の姿も多く見られ、多数の皆さまにご来場いただきました。出演は視覚障がいを持つ3組の演奏者、常瑠里子さん（ピアノ）と荒木温子さん（ヴァイオリン）のユニット「るあ」、ピアノ連弾の木村りえさん・りささん姉妹、ソプラノの川端みきさんです。デュエット、連弾、ソプラノと皆さんがそれぞれの才能を存分に発揮して、充実した演奏を披露しました。社会人楽団のムジークフェライン室内楽団は5年連続の参加で、弦楽アンサンブルの醍醐味を披露、川端みきさんと共に演じたヴェルディ「椿姫」のアリアに会場から大きな拍手が贈られました。今回もスペシャルゲストは世界的に活躍するヴァイオリニスト、川畠成道さん。11枚目のアルバム「川畠成道クライスターを弾く」の楽曲など6曲を演奏しコンサートの最後を華々しく飾りました。

司会のテレビ朝日
村上祐子アナウンサー

全ての人が楽しめるコンサートを目指して

1000人を超える来場者の中には2頭の盲導犬はじめ車椅子の方、白杖を持って同伴者とお見えになつた方なども多く見られました。障がいを持つ方々にもコンサート会場で演奏者と一緒に音楽を心ゆくまで堪能していただくために、東京六本木ライオンズクラブ、東京原宿ライオンズクラブ、日本郵政グループ労働組合東京地方本部、中央労働金庫各団体のボランティアの方々が多く参加され、会場案内などを一般のコンサートより丁寧に行っていることもこのコンサートの大きな特徴です。障がいの有無にかかわらず全ての人が共に音楽を楽しむ場を

スペシャルゲストの川畠成道さん（ヴァイオリン）と
大伏啓太さん（ピアノ）

提供するこのコンサートは今後も継続して開催する予定です。

日 程 平成26年10月18日(土) 午後3時

場 所 メルパルクホール（東京都港区）

主 催 テレビ朝日福祉文化事業団

共 催 東京六本木ライオンズクラブ
東京原宿ライオンズクラブ

後 援 港区・港区教育委員会
東京都社会福祉協議会

協 力 日本郵政グループ労働組合 東京地方 本部

運 営 障がい者芸術家を支援する会



ヴァイオリン 川畠成道

1971年東京生まれ。視覚障がいを負った幼少期にヴァイオリンと出会い、音楽の勉強を始める。桐朋学園大学卒業後、英国王立音楽院へ留学。1997年同院を同院史上2人目となるスペシャル・アーティスト・ステイタスの称号を授与され、首席で卒業。1998年のデビュー以来、英国と日本を拠点にソリストとして精力的な活動を展開し、毎年数多くのリサイタルと国内外の主要オーケストラとの共演を行っている。CDは、ファースト・セカンドアルバム共に20万枚の記録的大ヒットとなって以来12枚をリリースしており、川畠成道 クライスターを「弾く」は、デビュー10周年記念CD「ザ・ベスト」に続き、レコード芸術誌（音楽之友社2011年10月号）で特選盤に選ばれている。デビュー当初より積極的に国内外でチャリティーコンサートを行い、中学音楽鑑賞教材や高校英語教科書、高校現代文教科書に映像や文章が使用されるなど社会派アーティストとしても多方面に影響を与えている。



るあ ピアノ＆ヴァイオリン デュオ

2009年、ピアニストの常瑠里子（つね るいこ）とヴァイオリニストの荒木温子（あらき あつこ）がコンサートでの共演をきっかけに活動を開始したユニット。



川端みき ソプラノ

1993年「全国日本盲学生音楽コンクール」声楽部門第2位入賞。フェリス女学院大学在学中、オーケストラとの競演・ソリストに抜擢され好評を得る。現在は全国各地で演奏会を行っており、成功を収めている。



木村りえ・りさ ピアノ連弾

1991年「ピティナピアノコンペティションデュオ」初級全国大会奨励賞。1997年「同」上級全国決勝大会3位。大学卒業後デュオ・ソロを組み合わせた演奏スタイルで全国に活動の場を広げている。



ムジークフェライン 室内楽団

2009年、早稲田大学フィルハーモニー管弦楽団と慶應義塾ワグネル・ソサイエティ・オーケストラ両楽団の元コンサートマスター、首席奏者を中心にして結成。楽団名の“Musikverein”とは楽友協会の意。

ご来場の皆さまの声（抜粋）

★川端みきさんの歌に涙がこぼれました。目の不自由な出演者の方々のこれ迄の努力、そして支えてこられたご家族・指導者の皆様に言葉はありません。ご関係の多くの方に感謝します（84歳・女性）

★耳に馴染んだ名曲の数々、愉しく聴くことができました。木村りえ・りさ姉妹の連弾による「ハンガリー舞曲」と「美しく青きドナウ」。連弾での演奏は初めてで大変興味深く、息の合った演奏がよかったですし、相手を思いやる姉妹愛にも打たれます。川端みきさんとピアノの御園生瞳さんは大学クラスメートのこと、友情が素晴らしいですね。「るあ」の演奏もとても良かったです。「タイスの瞑想曲」では荒木さんの情熱を感じました。ムジークフェライン室内楽団は若々しい演奏で好感が持てます。川畠さんの演奏は過去に2度程聴いておりますが、素晴らしいの一言です（64歳・男性）

★皆さんの演奏に涙が出了ました。感動しました。来て良かったです。どうもありがとうございました（60歳・女性）

★今回、初参加。このような優しい会があつて参加することができ、ありがとうございました。大変心が和むコンサートでした（57歳・女性）

★非常に良かったです。また来たいです（23歳・男性）

★障がいがあることを感じさせないくらいの素晴らしい演奏でした。その陰には、きっと何倍もの努力、練習を重ねられたことだと思います。尊敬の念です。ありがとうございます（43歳・女性）

★皆さん障がいがあってもご自分の道を歩まれ、音楽を届けられ素晴らしいです（65歳・女性）

★素晴らしい演奏とっても感動しました！心が洗われました。アンサンブルもとってもよかったです。川畠様、圧巻です。相変わらずきれがあり、優しくて深い音色。素敵なコンサートをありがとうございました（50歳・女性）

★すばらしい演奏者の方々の生き方やひたむきに努力なさっている姿が美しかったです（73歳・女性）

★川畠成道様すべてすばらしかったです。とても美しい音色、目の前で演奏なさるお姿を拝見できて幸せでした。本当にありがとうございました。CDで聞くことぐらいしかふだんはできないのですが、実際に目の前の演奏を拝聴できて感謝いたします。心が洗われる思いです。私も私なりに明日から頑張ります。とても視力が弱いのですが、ほんやりと見えることに感謝して自分のできることを搜します（57歳・女性）

★ムジークフェライン室内楽団の室内楽の醍醐味を感じ、ピアノ連弾も、あのピアノとヴァイオリン、川端さんのソプラノの独唱もオペラのアリアの室内楽との共演も素晴らしいかったです。川畠さんのヴァイオリンは久々に聴かせて頂きましたが、年月を重ねて、又一層魅力を感じる音色に感動しました。質の高い丁寧な演奏とお話は抜群でした。ありがとうございました（77歳・女性）

★驚きました。素晴らしい演奏です。私も毎日を懸命に生きねばと思いました（56歳・女性）

児童福祉

●児童養護施設で生活する高校生の海外生活体験の旅

主催



マウントレーニア山麓をトレッキング

児童養護施設で生活する高校生たちが一般家庭にホームステイをしながら英会話を学び、アメリカの文化に直に接して現地の人たちと交流する「高校生の海外生活体験の旅」は今年度で14回目、児童福祉事業の中核となる事業です。参加した高校生が視野を広げ、好奇心、積極性、行動力、自立心、協調性を養い、未来に向かって前向きに進む姿勢を育むことを目的とし、7月24日から8月1日まで、アメリカ・ワシントン州シアトルで実施しました。

初めての海外生活体験

書類選考、作文審査、面接審査で選ばれた男女10名が成田空港に集合、期待と不安に胸を膨らませて初の海外生活に出発しました。成田から飛行機に乗って9時間、「エメラルドシティ」と呼ばれる美しい都市シアトルに到着、シアトル市内観光後、ホストファミリーと緊張の対面を行いました。1人になってアメリカ人家庭での生活です。「上手くやっていけるだろうか?」初日の夜はうまく会話ができず不安な夜を過ごした参加者もいたようでした。2日目からは、午前中はアメリカ人教師による英語レッスン、午後はボイニング社の工場見学、大リーグ野球観戦、ボランティア活動、マウントレーニア山麓トレッキングなど盛りだくさんのイベントに参加し、夜はホストファミリーと過ごす海外生活体験です。週末は終日それぞれのホストファミリーにショッ

ピングに連れて行ってもらったり、バーベキューパーティーを開いてもらったりと各々が貴重な体験をさ



セーフコフィールド球場で大リーグ観戦

せてもらいました。始めのうちは言葉がなかなか思うように通じず、ホームシックになった参加者もいましたが5日目あたりから、拙いながらも英語で会話できるようになり皆すいぶん自信がついたようでした。最後の夜はお世話になったホストファミリーをお招きしてさよならパーティーを開きました。子どもたちが日本の文化を英語で紹介するのが大きな柱の1つです。一同緊張の面持ちでしたが、日本から準備してきた思い思いのやり方で一生懸命チャレンジする様子をホストファミリーの方々は優しく見守ってくれました。最後は「栄光の架け橋」を全員で熱唱、中には感極まって号泣する子どももいました。



ワシントン大学図書館前

旅を終えて

今回一番の印象は、子どもたちの表情が日に日に明るく、のびやかに変わっていくことでした。笑顔を見せ、目をキラキラと輝かせ、生まれて初めて見る世界を楽しんだようです。短い期間ではありましたが子どもたちは随分と成長したように見えました。1人1人の努力は言うまでもありませんが、何よりも10軒のホストファミリーの方々が、私たちの想像を超える、言葉に出来ないくらいの深い愛情を子どもたちに注ぎ、お世話してくださった賜物であると思います。勇気をもってこの旅に参加した10



消防署見学



ホストファミリーと最後に記念撮影

人の子どもたちがホストファミリーやこの旅に参加させてくれた周囲の方々への感謝の気持ちを忘れず、この貴重なふれあいを通じて学んだことをこれから的生活に生かし、役立ててくれることを願っています。

日 程	平成26年7月24日(木)～8月1日(金) 7泊9日
場 所	アメリカ ワシントン州シアトル
参 加 者	高校生10名(男子2名、女子8名) 東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城の児童養護施設
主 催	テレビ朝日福祉文化事業団
共 催	(福) 東京都社会福祉協議会児童部会
後 援	(公財) 原田積善会

参加高校生の感想文(抜粋)

☆Sさん 16歳

アメリカ人は気さくだし、優しくフレンドリーで、アメリカが大好きになりました。今回の経験はすごく貴重だし、いろんなことを知り、考えることができ、とても楽しかったです。これからはもっと自分らしさを持って、いろんなことに取り組んでいこうと思います。

☆Yさん 16歳

シアトルへ行く前日、私は英語が話せないことや、人見知りということもあります、不安でいっぱいでした。すぐでも投げ出したい気持ちでした。でもホストファミリーは私を温かく迎え入れてくれました。私はこの旅を通して、人の優しさは人の心を温かくすることなど色々な事を学びました。

☆Sくん 16歳

ホストファミリーは本当に優しくて感動しました。家族ってこういうものなんだな、ということが解った気がします。アメリカに1週間行ってみて、今まで自分がどれだけ小さい所で生きて来たか実感しました。自分が知らない所がまだ一杯あるんだということが解りました。アメリカで色々なことを知り学び考え、前の自分より成長して日本に帰って来たと思います。この体験は自分がこの先を生きていく上で、絶対に役立つものになると思います。まだまだ人生は続くけれど、やっぱり出会いを大切にしたいです。

☆Hさん 16歳

ホストファミリーが私を本当の家族のように大切にしてく

れたことがとても幸せでした。朝起きた時から、夜眠るまでほとんど英語づけの毎日だったので、自分の英語力が日に日に成長していくことを感じることが出来ました。今までの私を変えてくれる良い研修でした。今回のことがキッカケで、また一步将来へと踏み出せそうです。

☆Fさん 17歳

シアトルで訪れた場所ももちろん楽しかったですが、ホストファミリーといた1週間が一番大切だったと思っています。今後シアトルへ行く機会があれば、ホストファミリーと会って沢山お話ししたいです。

☆Uさん 17歳

シアトルでの色々な体験を通して、これから自分のやるべきことを学ぶことができました。私の夢は海外で生活することなので、今からもっと英語を勉強していきたいです。

☆Sさん 15歳

アメリカ人と会話することができたり、アメリカ人が話していることの意味が分かったりして英語が好きになりました。そして何事にもトライしてみようという気持ちを持つことが出来たなど、自分が少し成長できたと思います。

☆Mさん 16歳

この経験を通して、外国にも興味がわいたり、自分の視野が一気に広がったので、これからにつなげて行けたらいいなと思います。

●第3回 子どもキラット! 楽演祭

主催



この日のために一生懸命練習してきた子どもたち

「子どもたちに発表の場を設けてほしい」という要望で実現した児童養護施設で暮らす子どもたちの発表会「子どもキラット！楽演祭」は子どもたちの明るく健全な個性を育むことを目的として毎年行っています。

子どもから大人まで総勢560名が楽しく参加

秋晴れの爽やかな日曜日、東京・虎ノ門のニッショーホールに、東京・埼玉・神奈川の12施設から幼児・小、中学生、高校生と職員が集まりました。バンド、ハンドベル、トーンチャイムの演奏、キッズゴスペル、合唱、そしてヒップホップダンスや創作舞踊、日本舞踊までと盛りだくさんな全16演目を熱演し、見学者を合わせると560名が参加しました。



応援ゲストはブレイクダンスのHAL & BANRI

妖精のようにメイクした幼児たち、大人っぽい日本舞踊の着物をまとった子どもたち、映画のワンシーンのようにプロジェクトにおまじないの文字を出しながら進行するダンス、ハンドベルやトーンチャイムの吸い込まれそうな神秘的で美しい音…。いずれもこの日のために一生懸命練習してきたことが分かります。

司会には、今年も「高校生の海外生活体験の旅」に参加了した女子高校生がチャレンジし、見事大役を果たしてくれました。

ゲストのパフォーマンスに感動

スペシャル応援ゲストは、坂本九さんの長女で歌手の大島花子さん、ギター伴奏は笛子重治さんです。♪「明日があるさ」、♪



スペシャル応援ゲストの大島花子さんとギター伴奏の笛子重治さん

「Let it go」、デビュー曲♪「見上げてごらん夜の星を」の3曲を透明感ある声で歌い上げると、会場は感動に包まれました。また、温かい呼びかけで全員で楽しんだステージは、皆にとって忘れ得ぬひと時になりました。

応援ゲストは、ブレイクダンスのHAL & BANRI。韓国バトルでも優勝したHALさんと児童養護施設を卒園し現在大学生のBANRI君が、息の合ったダイナミックなダンスを披露しました。卒園生の活躍に惜しみない拍手が送られました。



最後にみんなで記念撮影

来年も会いたいな

すべての施設の発表終了後、舞台にたくさんのちびっ子たちが集まって「幸せなら手をたたこう！」を全員で合唱。大島花子さんのリードで和気あいあいと楽しい時間を過ごし、あつという間に約3時間半の「楽演祭」は終演となりました。最後は全員舞台にあがって記念撮影。みんなのキラキラした笑顔が印象的で、来年もまた子どもたちにここで会えるといいなあと、温かい思いでいっぱいになりました。



和服姿が艶やかな日本舞踊



幼児から高校生まで大舞台で熱演！

日程 平成26年11月16日(日)開演13時30分

場所 ニッショーホール(東京都港区)

主催 テレビ朝日福祉文化事業団

共催 (福)東京都社会福祉協議会児童部会

後援 (公財)原田積善会

参加施設の感想文(抜粋)

★子どもたちにとって発表する舞台としては、一番大きなものなので練習も励みになり、発表もとても貴重な体験になりました。子どもたちはイキイキしていました。大島花子さんが観客と一緒に歌を歌ってくれ、会場が一体になれたのがよかったです。

★他の施設の子のがんばり、私たちの施設の子どもたちのがんばり、ともによく発表できていた素晴らしいステージで、とても感動的な時間・空間になっていました。ありがとうございました。みんな大満足の発表ができました。来年もたくさんの子どもたちの日頃がんばっていることを発表している様子、キラキラの笑顔をみることができます。

★子どもたちの日頃の練習が自立支援に繋がっていると感じる。子どもと職員が一緒ということが大きい。子どもたちもマナーを学べる場になった。大島花子さんの落ち着いた感じはよかったです。男の子たちも立って歌ったりして楽しめていた。ブレイクダンスがカッコよかった。毎年ブレイクダンスが楽しみと子どもたちからの意見がある。施設出身の人が活躍しており、感動した。子どもたちも目標にしてくれたらと思う。

★他の施設の発表も楽しめました。良い刺激になったと思います。大島花子さんは参加型だったので、子どもが飽きることなく楽しめたと思います。

★4月からキラット！のために練習を重ねているので、子どもたちにとって良い目標になっています。当日の演奏も音のバランスも舞台もとてもよく、子どもたちも満足しております。このところダンスに興味のある子どもたちが増えてきたので、ダンサーがきてくださったのはとてもよかったですし、同じ施設出身の子どもと一緒にダンスを披露してくださったのは、子どもたちの希望になったと感じています。

★子どもたち一人一人が毎年すごく楽しみにしている行事

なので、ぜひ、来年も参加したい。どの施設もその施設の色が出てみんな違って、みんなよいパフォーマンスでした。大島花子さんの歌声が透き通った素晴らしいものでした。会場全体で歌うこともあったので、いい雰囲気の中で盛り上がることができました。HALさんはすごく迫力があり、BANRI君とのコラボダンスもとてもよかったです。

以前キラット！に参加していた子どもが、大学生になってゲストとして出演するということは、とても面白かったです。施設を退所してからも頑張っている姿を見ることができて良いと思いました。

★毎年大きな舞台で、子どもたちはこの舞台に向けて練習を重ねています。大島花子さんのきれいな歌声で静かな時間を過ごせました。

★子どもたちも大きな舞台に期待膨らませ、楽演祭に対するモチベーションも高くなり、良い経験をすることができました。インタビューも復活したこと、子どもたちもより良い刺激になり、自分の将来を考えるきっかけともなったことかと思います。施設の子が卒業後にもゲストとして参加できることは、素晴らしいと思います。それをを目指して施設の子ががんばっていけるような活動になっていくだと感じています。大きな舞台で沢山の人たちの前で子どもたちが踊れたことが何よりです。

★子どもたちがキラット！を楽しみの一つにしてきています。同じ環境下に置かれている子どもたち同士、よい刺激になっているように思います。本当に成長を目で見れる素敵なお場所だと感じました。皆、どちらの施設もこの日のために練習を重ねていただろうと感じました。

大島花子さんは選曲、彼女の持つ空気がよかったです。HALさんの出演に演技が盛り上りました。ゲストは子どもたちが親しみやすい方々であったと思います。素晴らしい楽演祭でした!!最高です!!

●第2回 農村ホームステイ体験の旅

主催



熱心に農作物の話を聞く参加児童たち

農業を営む家庭にホームステイして野菜作りや家畜の世話などを実際に体験する「農村ホームステイ体験の旅」を平成25年度より実施しています。都会の児童養護施設で生活する小学校高学年と中学生を対象に、積極性・社会性・協調性などを養い、視野を広げてもらうことが目的です。ホームステイ先は柳田国男の「遠野物語」でも有名な岩手県の内陸部に位置する遠野市、河童伝説が伝わる地でもあります。東日本大震災当時は沿岸被災地への後方支援活動拠点にもなりました。



緑広がる遠野の田園風景

10人の児童が農村ホームステイ体験へ

東京駅から東北新幹線とバスを乗り継ぎ遠野に到着。昔の豪農の家“曲り家”やカッパ伝説のカッパ淵などを巡った後はいよいよお世話になるホストファミリー10軒の方たちとの緊張の対面です。お互い



さよならパーティーでホストファミリーと記念写真



被災地の集会場で昔ながらのお菓子作りを体験

に初対面の挨拶を交わし、子どもたちは一人ずつそれぞれのホストファミリーの家へ向かい、農村ホームステイの始まりです。

雨の日は屋内でジャム作りや野菜の仕分け、家の手伝い、晴れの日には朝早くから作物の収穫や出荷、牛舎でのエサやりの手伝いなど、皆元気に作業に取り組みました。また、東日本大震災の被災地陸前高田市を訪ね、被災したスーパー・マーケットの仮設店舗の草取りボランティアや仮設住宅の集会場でのお菓子作りにも参加しました。ホストファミリーの皆さんとのさよならパーティーでは参加児童がお世話になったホストファミリーへ「感謝の手紙」を読んでそれぞれの気持ちを自分の言葉で伝え、ホストファミリーの方々に大変喜んでもらいました。

農村ホームステイ体験を終えて

長いようで短かった5日間、参加した10人の子どもたちにとっては楽しいことばかりではなかったと思います。普段の施設での生活と違い戸惑ったこと、困ったこと、慣れない農作業でとても疲れたり、我慢したこと多かったです。重い荷物を運んだり、大雨で濡れたり、ぬかるみの中の作業で服が汚れたり大変な思いもしました。しかし、施設に戻ってから子どもたちが周

囲の人たちに遠野での様子を生き生きと話していると聞き、ホッと胸をなでおろすと共に、現地では気づかなかつた子どもたちの成長を強く感じることができました。子どもたちを温かく迎え入れ、たくさ



初めての芋ほりに大奮闘

んの貴重な経験をさせてくださったホストファミリーの皆さんのご協力に改めて感謝すると共に、次年度以降もこの事業を実りあるものにしていきたいと思っています。

日 程 平成26年8月20日(水)～8月24日(日)

参 加 者 小学校高学年4人、中学生6人(男子5名、女子5名)
東京・神奈川・埼玉・千葉の児童養護施設

主 催 テレビ朝日福祉文化事業団

共 催 (福) 東京都社会福祉協議会児童部

後 援 (公財) 原田積善会

参加児童の感想文(抜粋)

☆小5男子

お世話になったホストファミリーは、ちょっと厳しいけど、とても優しく、とても早起きの働きものでビックリしました。朝4時起きは辛かったけど、野菜の収穫、袋詰めは楽しかったです。

☆小6女子

大きな畑をお婆ちゃんが一人で耕し、収穫していることやお爺ちゃんが牛の飼育を一人でしていてお金もかかり大変だなあと思いました。被災地にも行けて、いろいろ体験でき、学べて楽しかったです。

☆小6男子

遠野の山が綺麗なこと、自然しかなく畑の多さに驚きました。被災地の仮設住宅の皆さんとのお菓子作り、被災したスーパーの草取りボランティアも楽しかった。ホストファミリー、一緒に行ったみんなと別れることが一番辛かったです。

☆中1男子

最初は一緒に行く子も知らない人ばかりでしたが、新花巻に向かう新幹線の中で仲良くなれて安心しました。さよならパーティーでちょっと悲しくなって、また来たいと思いました。

☆小6女子

私が応募した理由は、いつも学園の先生に頼ってばかりいるので知らない所で知らない人と過ごして様々な体験をして成長したかったからです。ホームステイ先のお母さんがホントの家族のように優しくしてくださいました。

☆中1男子

初めて乗る新幹線に少し興奮しながらも、人みしりで話すのが苦手な僕の旅の始まりでした。ホストファミリーと会うのもドキドキでしたが、皆さん笑顔で迎えてくださいました。都会にはない自然とホストファミリーの優しさに触れて、遠野から帰るのがつらかったです。

☆中1女子

さよならパーティーでホストファミリーに感謝の手紙を読んで渡す時は緊張しました。野菜の収穫、袋詰めも、たくさんの人と話せたことも楽しかったです。

参加ホストファミリーの感想(抜粋)

★始めはあまり口数が少ないので楽しくないので心配しました。しかし、時間がたつにつれて思っていることを少しずつ話してくれました。あまえべた性格なのかも知れませんね。

さよならパーティーで読んでくれた手紙で短い間にいろんなことを感じてくれたのだと、とっても嬉しく思いました。今までいただいた手紙の中で最高の宝物になりました。

★あいにく天気が悪く予定していたバーベキュー・サッカー教室の参加など出来なくて残念でした。

時間が経つにつれて自分から話してくれたり、子どもの面倒もみてくれました。

さよならパーティーでは、他の家の様子も聞けて、交流も出来て楽しかったです。

★我が家の人一人への手紙には感動しました。社会人になって成長した姿を見たいです。

★いろんな話をたくさんしてくれました。日頃、大人だけの生活なので家族の中に花が咲いたようでした。

さよならパーティーでは、感謝の手紙をいただき大感激しました。今後の人生に自信と誇りを持って生きて欲しいと思います。

★食べ物の好き嫌いなく食べてくれ、牛舎や畑の手伝いも頑張ってやってくれました。遠野の楽しい思い出を胸に頑張って欲しいと思います。

★心くばり、気配りの出来る子だと思いました。どんどん甘えてくるのがわかりました。

強く、優しく生きて欲しいと思いました。

★素直で自分の考えをしっかりと言えて、一緒にいて楽でした。地域の方たちとも仲良くなれたようです。これからも見守ってあげたいなあと思いました。

★小学生らしいかわいさもあり、毎朝4時30分に野菜の収穫や出荷を進んで手伝ってくれました。

★少し心配ごとはありましたが、共に生活してみて身体ごとぶつかってつき合うことができました。食事のこと、生活のこと、作業のことを互いに話し合ってやりました。

江戸っ子杯争奪

●東京都児童福祉施設競技大会 2014 野球の部

共催 助成

調布市・調布基地跡地運動広場で「江戸っ子杯争奪東京都児童福祉施設競技大会2014 野球の部」が開催されました。この大会らしく小学生・中学生の男子女子で構成された個性あふれる9チーム、約140名の児童が参加、一日目に予選リーグ戦、二日目に決勝トーナメントと全13試合の熱戦が繰り広げられました。審判団は今年も三鷹市軟式野球連盟の皆さんに全面協力して頂きました。

開会式では元プロ野球選手の工藤公康氏が始球式を行いました。工藤さんは9チーム各々の児童との記念撮影や色紙・副賞品などへのサインにも快く応じられ、また、集まった子どもたちに気さくに激励の言葉をかけたりと子どもたちもスタッフも大喜びでした。

猛暑日となる暑さの中、開始予定時間を繰り上げて一日目がスタート、3ブロックに分かれて予選リーグ9試合が行われました。それぞれの1位通過チーム3チームと得失点差で4位となるチームの計4チームが翌日の決勝トーナメントに進出するとあって力の入った好ゲームが繰り広げられました。

二日目は前日を上回る猛暑となりましたが午前中に一回戦、午後に決勝戦と3位決定戦が行われました。その結果、シーソーゲームを制した清瀬市の「ベ



始球式を行う工藤公康氏

トレハム学園」が、初優勝を狙った「調布学園」に7対6の1点差で辛勝、二連覇を達成しました。3位決定戦では、「生長の家神の国寮」が前半のリードを守りきり、追いすがる「至誠学園」を振り切って8対3で勝利しました。また、「星美ホーム」と「精舎児童学園」の親善試合も行われ、暑さに負けず一生懸命プレーする子どもたちに大きな声援が飛び交いました。

閉会式では、テレビ朝日福祉文化事業団から優勝～4位までの各チームにトロフィーの他、副賞としてバット、グローブセット、参加者全員にスポーツタオルを贈呈し、熱中症や事故などなく二日間にわたる大会が無事閉幕しました。

日程 平成26年7月23日(水)・24日(木)
場所 調布基地跡地運動広場(東京都調布市)
主催 (福)東京都社会福祉協議会児童部会
共催 テレビ朝日福祉文化事業団
後援 三鷹市・(公財)毎日新聞東京社会事業団・(公財)報知社会福祉事業団



猛暑の中熱戦を繰り広げる児童たち



優勝旗を受け取る2連覇のベトナム学園

●児童福祉施設職員のためのワークショップ

共催 助成

子どもの気持ちに寄り添い、関心を持って耳を傾け共感することで子どもの行動の背景にある感情を理解し対応する方法を学ぶ1泊2日の児童福祉施設職員のためのワークショップが開催されました。

現在、児童福祉施設では被虐待児童など、行動上の問題を抱えた児童が増加しています。これらの背景には家族の問題や、地域社会の影響によるところが多く、児童福祉分野に従事するスタッフには、その理解と、より高度で専門的なトレーニングが求められています。今年も、1980年代から児童虐待、ネグレクトの問題に取り組み、また日米の子どもと家族の治療に關ってこられたDr.田中万里子先生(サンフランシスコ州立大学名誉教授)を講師にお迎えしました。

ました。実践的な理解を深めるため、事前に施設職員から提出してもらった課題についてオープンに話し合いを行い、現在起こっている事象についての理論的な裏付けを学んだ後、その知識を現場でどのように活かしていくかについてケースごとのディスカッションを行いました。

日程 平成26年10月21日(火)～22日(水)
場所 ザ・クロストホテル立川(東京都立川市)
主催 (福)至誠学舎立川 児童養護施設至誠学園
共催 テレビ朝日福祉文化事業団

●第56回 慈彩会展

後援 助成

慈彩会は自然を愛し美を愛する各界の有志で、日ごろから絵画・書・工芸などに親しむ方々が集い、“社会福祉施設に絵を贈る運動”として1958年(昭和33年)に発足しました。毎年1回日本橋三越本店で展覧会を行っており、今年度も「第56回慈彩会展」として開催されました。出品作品はすべて作者から無償で提供され、社会福祉施設に寄贈されています。また希望者への販売も行われ、収益金は助成金として社会福祉活動に役立てられます。

この展覧会には、毎回、常陸宮妃殿下からも御出品いただいたおり、また趣旨に賛同した専門家も多く参加しています。今回は常陸宮妃殿下の「新年歌会始の詠進お歌」(書)の特別御出品をはじめ、総計164点もの作品が出展されました。

洋画・水彩画・日本画・書・工芸・写真と多岐にわたる素晴らしい作品が会場に所狭しと飾られ、中



人気の似顔絵コーナー



第56回慈彩会展開催

には思わず笑いを誘うユニークな作品や、100歳の作者の「ちぎり絵」などもあり、見ごたえのあるものとなっていました。またご購入いただいた方の似顔絵をその場で描くサービスも行われ、来場者に好評でした。

これまでに全国の福祉施設に贈呈された作品は累計で5114点、延べ3560施設、助成金は8170万7000円となりました。

日程 平成26年7月16日(水)～21日(月)
場所 日本橋三越本店(東京都中央区)
主催 慈彩会
後援 厚生労働省・東京都・(一社)日本民生文化協会・テレビ朝日福祉文化事業団・(公財)原田積善会

●第59回 全国里親大会 おかやま大会

共催 助成

児童福祉の父と呼ばれる石井十次が岡山孤児院を設立した岡山で開催された全国大会は、子どもたちの「当たり前のこと」保障に向けて必要とされる「家庭的養護」と「個別化」の担い手として重要度が増す里親やファミリーホームの制度の現状と課題を考え、更なる普及を目指し開催されました。現在保護を必要としている子どもは全国に4万人を超えており、里親のもとで暮らすのは1割にとどまっており登録家庭の確保が大きな課題となっています。全国から集まった630人の里親と関係者は制度の意義と必要性を社会にアピールすることを今後の目的と確認しました。2日目は、里親家庭で育ち、茨城県高萩市長も務めた東北福祉大の草間吉夫特任教授が記念講演を行い、2日間の日程を終了しました。

日 程 平成26年10月18日(土)～19日(日)
場 所 岡山国際ホテル(岡山県岡山市)
共 催 厚生労働省、岡山県、岡山市、(公財)全国里親会、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

こどもの国お正月行事

●ジャンボカルタ取り大会、どんど焼き

後援 助成

毎年恒例となっているこどもの国でのお正月行事、「ジャンボカルタ取り大会」と「どんど焼き」が開催されました。天候に恵まれた1月2日・3日・4日の三日間、正面入り口広場ではジャンボカルタとり大会とその後百人一首大会も行われ、子どもたちが元気よく1メートル四方の札の置かれた広場を駆けまわっていました。札をとった人には景品がプレゼントされ、大きなカルタと記念撮影をする親子の姿も見られました。

1月12日成人の日には園入り口近くの多目的広場で「どんど焼き」が行われました。持ち寄られた



ジャンボかるたの上を駆け回る子どもたち



どんど焼きに願いをこめて

松飾り・書初め・願い事などが納められ大きなやぐらを組んだどんど焼きは、強風の中、年女・年男たちによるトーチリレーで始まり、周りを取り囲んだたくさんの人が見守る中着火と同時に炎が勢いよく燃えさかりました。どんど焼きでは、子どもたちに焼き芋400個が手渡されたほか焼きマシュマロ体験もあり家族連れが楽しみました。

カルタ取り

日 程 平成27年1月2日(金)、3日(土)、4日(日)

どんど焼き

日 程 平成27年1月12日(月・祝)

場 所 こどもの国(神奈川県横浜市)

主 催 (福)こどもの国協会

後 援 テレビ朝日福祉文化事業団

●第60回 関東甲信越静里親研究協議会 静岡大会

後援 助成

日程 平成26年7月6日(日)

場所 ふじのくに千本松フォーラム プラザヴェルデ(静岡県沼津市)

主催 (公財)全国里親会、関東甲信越静里親研究協議会、静岡里親連合会、

後援 静岡県、沼津市、(福)静岡県社会福祉協議会、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

その他の事業(後援名義)

●第9回「家族週間」子育て童謡コンサート

後援

日程 平成26年11月12日(水)

場所 ルネコだいら(東京都小平市)

主催 日本と世界の愛唱歌をうたう会

●「憩いの家」資金バザー

後援

日程 平成26年12月20日(土)～25日(木)

場所 日本橋高島屋(東京都中央区)

主催 (福)青少年と共に歩む会

●日本児童養護実践学会 第7回研究大会

後援

日程 平成27年2月28日(土)

場所 昭和女子大学(東京都世田谷区)

主催 (一社)日本児童養護実践学会



*母子福祉

特集

児童福祉

母子福祉

障がい者福祉

高齢者福祉

その他

●母子のための テレビ朝日見学体験ツアー

主催



「報道ステーション」の天気予報中継も行われるテレビ朝日の屋上テラスにご案内

平成26年度から新たに母子福祉事業に取り組み、その第一弾として母子生活支援施設のお母さんと子どもを対象に「母子のためのテレビ朝日見学体験ツアー」を実施しました。この企画は、住所を開示しない施設で暮らす母子に外出して気分転換を図ってもらうこと、参加者同士の交流や、テレビ朝日を身近に感じて楽しい一日を過ごしてもらうことを目的にしています。応募者多数のため当初予定していた6月に加え、10月にも開催、合計4ツアーニに15組の母子と引率の支援員合わせて46名にご参加いただきました。

社内食堂が好評！笑顔が溢れる見学ツアー

テレビ朝日の館内見学は、学校単位の申し込みは受け付け実施していますが、個人を対象には実施していませんので、特別な見学コースを企画して開催しました。基本コースは、生放送中の「サンデースクランブル」(毎週日曜日11:45～12:55放送・一部地域を除く)スタジオ見学→「ANNニュース」報

「サンデースクランブル」出演者とのQ&Aが大好評！
(右から)下平さやかアナウンサー、小木逸平アナウンサー、野村真季アナウンサー

道スタジオをガラス越しに見学→社内食堂での昼食→コーポレートデザインセンターで美術セット模型など見学→「報道ステーション」「報道ステーションSUNDAY」「スーパーJチャンネル」等のスタジオセット見学→本社1階アトリウムの自由観覧→晴天時はEXタワークラウドカフェでティータイム。

お土産も、見学記念バッジ、番組宣伝グッズや母子お揃いのゴーちゃん。Tシャツ、テレビ朝日福祉文化事業団記念品、ドラえもん人形焼などもりだくさんに用意しました。

生放送中のスタジオ見学に感動！

まずは、「サンデースクランブル」(毎週日曜日11:45～12:55放送・一部地域を除く)のスタジオ見学です。生放送のスタジオに子どももお母さんも興味津々。スタジオに司会の下平アナウンサーが入ってくると、「わあ、きれい！」と感嘆の声があがりました。生放送中は、音を立てないよう細心の注意が必要です。5歳前後の子どもたちが我慢できるか心配でしたが、ニュースが始まると、スタジオ内の緊張感が伝わったのか、子どもたちは真剣な眼差しで静かに見学。お母さんに抱っこされながらも、身体を伸ばして食い入るように見ている子もいました。

アナウンサーとのQ&Aは大好評！

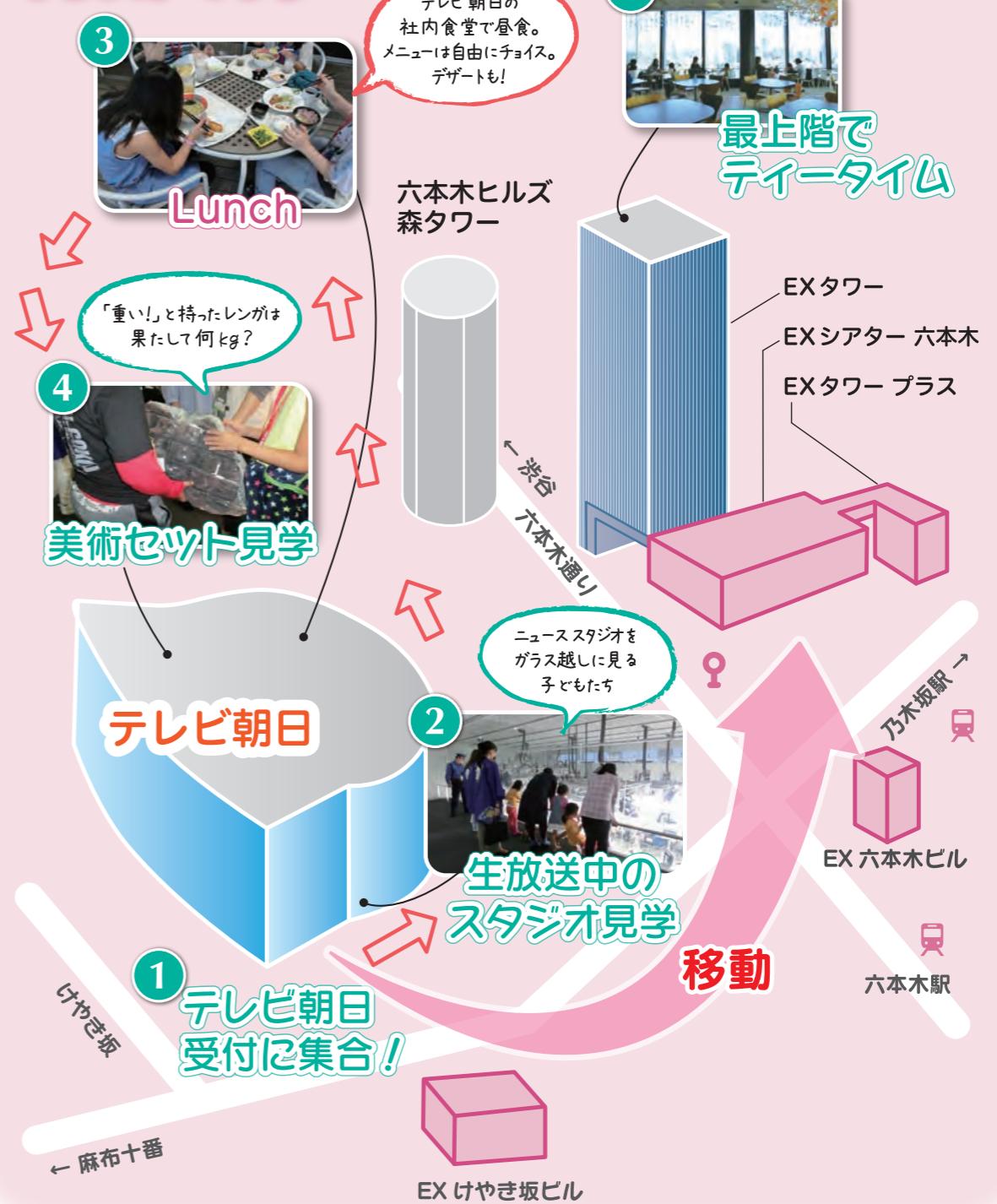
「サンデースクランブル」に出演中のアナウンサーが母子からの様々な質問に丁寧に答えてくれるQ&Aに、皆大喜び。手をあげて一步前に出て質問する子もいれば、恥ずかしがつてお母さんの後ろに隠れてしまう子もいました。中には「ジャイ子は好

きですか？」など難しい質問も…。「握手してくれた！」「アナウンサーのお二人が気さくでやさしくて感動しました」「子どもの質問に一生懸命に答えてくれて、うれしく思いました」などの感想が寄せられました。

社内食堂でランチタイム

社内食堂はおいしいと大好評！テラスの眺めと広々した空間で走り回る子どもたち…見守るお母さんの顔には笑みがあふれていました。

母子のための テレビ朝日見学体験ツアー イラストマップ



好きなもの取り放題に「ソフトクリームまであってバイキングみたい！」「オムライスのビーフシチュー添えは最高に満足」と喜んでくれました。

小道具の旗が出迎え

美術スタッフが作ってくれた「歓迎！母子のためのテレビ朝日見学体験ツアー御一行様」という旗をもったお人形が見学ツアーの母子をお出迎えしました。番組の美術セット模型や大・小道具などの展示を見学。警備のお兄さんが重そうに運んでくる小道具の煉瓦を受け取り、その軽さに大笑い！お母さんたちは番組のCGやデザインセットの説明パネルコーナーを熱心に読んでいました。

EXタワーのカフェでティータイム

天気のよい日は、関係者以外入館できないEXタワー17階にもご案内。週末は営業していない「クラ



「歓迎！母子のためのテレビ朝日見学体験ツアー御一行様」の旗の出迎えに歓声が！

ウドカフェ」が臨時オープンしてくれて、スカイツリーや東京タワーなどの眺めを満喫しながら、ティータイムと「ゴーちゃん。」探しゲームを楽しんでもらいました。

ツアーを終えて

初の試みとなった「母子のためのテレビ朝日見学体験ツアー」。4日間で46名に参加していただきました。当事業団スタッフも初めての経験で、微調整を重ねながらの不慣れな案内ではありましたが、参加した母子が帰宅時に見せてくれた笑顔に励まされ、心が温かくなりました。関東ブロック母子生活支援施設協議会のご支援とテレビ朝日各部署の多大な協力により無事開催できましたことに感謝しつつ、次年度開催への準備をしていきたいと思います。



生番組放送見学後は出演者と歓談。貴重な経験は施設で生活する母子の宝ものに

日程 平成26年6月8日(日) 6月15日(日) 10月5日(日) 10月26日(日)

場所 テレビ朝日

参加者 母子15組46名(未就学児童4名、小学生14名、中学生2名他) 東京・神奈川・千葉 8施設

主催 テレビ朝日福祉文化事業団

後援 関東ブロック母子生活支援施設協議会

参加者からの感想文(抜粋)

☆小6男子

たのしかったです。今回はじめてテレビ局へ行きました。いつも普通にみているニュース番組がどのようにつくられているのかなど、テレビの裏側を見学できてとてもよかったです。セットもすごかったし、あんなにいっぱいある照明にはおどろきました。

☆母子生活支援施設支援員

母子の方々は、これまでのご苦労等を抱えながら今後地域での自立を目指しそれぞれの課題、目標に向かって日々頑張っておられます。そんな母子の方々が、日常では体験できないテレビ局の裏側等の見学を楽しまれ、また日常の新たなパワーに繋がるのではと感じました。楽しい一日をありがとうございました。

☆小6男子

今までよりもニュースにきょう味を持てるようになりました。テラスからの景色もとてもよかったです。

☆母

生放送前のスタジオ内の見学とアナウンサーの人に直接質問出来て良かったです。

☆母子生活支援施設 施設長

アナウンサーの方々とコミュニケーションの場を設けていただきしたことや、社内食堂で食事をとらせて頂くなど、とても楽しく有意義なひとときを過ごすことができました。

☆母

テレビでしか見たことのない、見られない場面やアナウンサー、キャスターさんにもお会いできて嬉しかったです。騒いだりして迷惑かけるのではないかと心配していましたが、とてもしっかりしてくれていました。

☆小2女子、小3男子

お昼のカレーがおいしかった
テラスからの景色がとってもきれいでいた

☆母

番組セットが間近で見れて良かったです。

☆小3女子、小6女子

ドキドキしたけど嬉しかったです。

☆母、小2女子、小4女子

家族で本当に楽しめ、又、色々な発見、TV局内での事を学ぶ事が出来て良かったです。
自宅や学校の机上では学べない、本当にラッキーな見学ツアーに参加出来たと喜んでいます。小学生のうちに、このような体験ができる事、本当に良かったと思います。

☆母子生活支援施設支援員

普段は入れない所に連れて行っていただき、おとなも大興奮の一日でした。親子で共通の経験をすることは親子間の会話も弾み、良い親子関係が一層築かれていきます。また、空間の中で色々な役割をもって仕事されている方々を見て、子ども達も自分の将来に向けて夢や希望を具体的に考える機会にもなると感じました。

☆母子生活支援施設支援員

今回の体験ツアーは喜びであり嬉しさであり、将来的展望や希望に繋がった事だと思います。お母さんから「ありがとうございます。感謝だね」という言葉を多く聞きました。

☆母、中2女子

親子共に、一生に一回の樂

しい思い出になりました。

まさか、生放送中のスタジオに入れてもらえるなんて思ってもいませんでした。会社の中で働いている現場を見る機会のない子供にとって大人が真剣に仕事をしている姿を見る事も将来の夢に大きな影響を与えてくれた事でしょう。

☆母、5歳女子

貴重な経験が出来てとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。アナウンサーへのQ&Aでは、ほかの参加者の質問もきけて、楽しく知ることが出来たし、記念写真も一緒に撮れて、いい思い出でした。

☆母、4歳女子、6歳男子

子供達も私も初めての経験で楽しませていただきました。静かにできなく見学できない場面もありましたが、それも良き思い出となりました。

☆母、5歳女子、小3女子

ふだん、体験出来ない貴重なことやテレビを見ているだけでは分からぬ工夫や現場での忙しさ、緊張感が味わえてとても良かったです。楽しくてあつという間に時間が過ぎてしまいました。

☆母子生活支援施設支援員

スタッフの皆様が温かいおもてなしで迎えて下さり、感謝の気持ちでいっぱいです。すれ違う度に挨拶をして下さる社員さんの多いことに感激しました。緊張感の溢れる生放送を間近で拝見し、それを多くのスタッフが一丸となって一瞬で撮って行く姿には感動、感心致しました。

☆小3女子

生放送が一度いいから見てみたかったのでうれしかったです。また見に行きたいです。ご飯もおいしかったし大きくなったらテレ朝でカメラを動かす人になりニュースを撮りたいです。

☆小4男子

5チャンネル見てるよ！！！！！！
またいきたいです。しゃしんとったり、たのしかったよ。
(^-^)(^-^)(^-^)
ありがとうございました。

☆母、小2男子

スタジオのセットを生で見れて嬉しかったです。広く見せるために傾斜をつけているのがすごいなあと思いました。生放送のニュース番組は観ているだけで緊張しました。アナウンサーのお二人はとても気さくで優しくて感動しました。

☆母子生活支援施設支援員

たいへん貴重な体験をさせていただき、母子、職員とも、思い出深いひとときを過ごすことができました。「楽しかった？」と尋ねましたところ、参加した子どもも笑顔で頷いていました。

☆母子生活支援施設支援員

母も子も私も非常に楽しみにしておりました。日常から離れて親子で楽しい時間を過ごせたため、施設で生活している時とはまた違った表情の親子を見ることが出来ました。また、テレビ局という華やかな世界を支える多くの方がそれぞれの役割を持って働いていることを知り、子どもたちが将来の夢や希望を大きく広げられる良い機会になったと思います。



✿ 障がい者福祉

特集

児童福祉

母子福祉

障がい者福祉

高齢者福祉

その他

●第38回 ハンディスキー全国親善大会

共催 助成



斜面を華麗に滑り降りるチエアスキーの選手

第38回ハンディスキー全国親善大会が、秋田県仙北市・たざわ湖スキー場で開催されました。この大会はスピードやタイムを競うだけでなく、障がいのあるなしにかかわらず全国の仲間が共にスキーを楽しみ、スキーを修練することによりそれぞれの可能性を高め積極的に社会参加をすることを目的とするもので、テレビ朝日福祉文化事業団は、第1回から主催をしています。

開会式、インスペクションを終え、11時から競技開始となりました。今回は初級の参加者がいなかつたため、レースは上級・中級・ゲストメーション(健常参加者)に分かれ、日本全国から集まった45名の選手が熱戦を繰り広げました。勝敗はタイムの速い遅いではなく、同じコースを2回滑り、2回のタイム差が一番少ない選手が優勝となるため、自分のリズムを守って2本滑りきることが重要となります。

たざわ湖スキー場はモーグルのワールドカップや国体が開催される上級用ゲレンデから初心者コースまで多彩なコースが揃ったスキー場で、競技が行われる水沢コースは変化に富んだたざわ湖スキー場の中ではファミリーで楽しめる広くて比較的なだらかな斜面です。太陽が覗くと鏡のようにキラキラと光る田沢湖に向かって、赤と青28本の旗門がセットさ



緊張のスタート地点

れた全長約700mのコースを、第一滑走の選手を皮切りに約30秒のインターバルで次々と選手がスタートしてきました。選手達はそれぞれの状況に応じて用具や滑り方を工夫して思いきり風を切って旗門を通過し、フィニッシュ地点まで一気に滑り降ります。ソチパラリンピックでメダルを獲得し日本人の活躍も注目されている身体障害者スキーですが、テレビ画面で見ている競技スキーとは一味違い、ハンディをものともせず、人生を前向きに生きる方々のレースは、競技役員を務めたたざわ湖スキー場の関係者やゲストメーションに参加した選手たちにも勇気と感動を与えてくれました。大会終了後は表彰式と親睦会が行われ、親善大会の名にふさわしくお互いの健闘を称えつつ、久しぶりの再会に笑顔が溢っていました。

試合結果

上級男子優勝	進藤 雄一(秋田県)	タイム差 0秒02
上級女子優勝	泉 葉子(神奈川県)	タイム差 0秒17
中級男子優勝	石塚 孝文(秋田県)	タイム差 9秒64

日 程 平成27年1月23日(金)~24日(土)

場 所 たざわ湖スキー場(秋田県仙北市)

主 催 テレビ朝日福祉文化事業団
(公財)日本身体障害者スキー協会

共 催 (特)日本障害者スキー連盟(SAJD)

秋田県、秋田県教育委員会、秋田県スキー連盟、秋田県身体障害者福祉協会、秋田県障害者スポーツ協会、田沢湖高原リフト(株)、秋田県障害者スポーツ指導者協議会、日本労働組合総連合会秋田県連合会他
後 援

●第37回 車椅子バスケットボール秋季大会

共催 助成

神奈川県平塚市の馬入ふれあい公園ひらつかサンライフアリーナで車椅子バスケットボール秋季大会が開催されました。テレビ朝日福祉文化事業団は第1回からこの大会を主催しており、今年で37回を迎えました。

当日は大型台風が接近する悪天候となりましたが、日本車椅子バスケットボール連盟登録チームの中で東日本の12チームと大学生の健常者3チーム約200名が3ブロックに分かれて熱戦を繰り広げました。本大会の特徴は勝敗はもちろんですが車椅子バスケットボールの裾野を広げ、この競技を楽しみ知つもらうことを目的の一つに掲げています。毎年平塚バスケットボール協会と近隣中学校のバスケットボール部員がボランティアでオフィシャル、審判の補助、会場運営を行っている他、車椅子バスケットボール体験では小学生が参加して車椅子バスケットボールの試合を行い選手との交流を深めるなど、多くの子ども達が障がい者スポーツの素晴らしさを実感し、誰もが持っている無限の可能性に直に触れる良い機会となっています。

大会はABCの3ブロックに分かれ、男女混合で行われました。車椅子が転倒するなど障がい者の競技としてはかなりハードな運動ですが、自らの努力と練習で鍛えた選手たちの技術、そのスピード感や操作性、車椅子同士のぶつかる激しい音は迫力満点



小学生も車椅子バスケットを体験

で、普段接しているバスケットボールとは違う魅力を感じさせてくれました。

結果、Aブロックは若手を擁するYOKOHAMA DREAMERが豊橋フェローズに63対30で快勝し、Bブロックはクラブ東海が後半ELFINを引き離し66対57で辛勝、3チーム総当たりで行われたCブロックは2戦2勝でSPREADが優勝、準優勝にはROOTSが輝きました。

長い歴史を持つ車椅子バスケットボール秋季大会ですが、2020年の東京パラリンピックに向け今後一層の車椅子バスケットボールの周知と選手育成への決意も新たに大会は終了しました。



男女混合で熱戦を展開

日 程 平成26年10月5日(日)

場 所 馬入ふれあい公園ひらつかアリーナ(神奈川県平塚市)

主 催 (一社)日本車椅子バスケットボール連盟

共 催 テレビ朝日福祉文化事業団

後 援 平塚市・平塚市教育委員会

●障がい者施設などに対する設備助成

テレビ朝日福祉文化事業団では毎年、資金不足や公的資金援助では充分とはいえない障がい者の皆さんのが働く小規模な施設に対し、わずかでも環境改善や効率アップに繋がることを願って、施設の運営に必要な器具等、設備助成を行っています。今年度は19件の応募があり、審査の結果12の施設に対して設備助成を行いました。

当事業団では、平成5年から設備助成を実施しており、今年度で22回目になります。募集期間は例年4月～6月で、1事業施設に対して30万円以内で支援をしています。今年度「設備助成」した品目と施設は以下の通りです。

1	パソコン3台	よあけ	神奈川県鎌倉市
2	パソコン2台	楽庵	神奈川県茅ヶ崎市
3	電線マン	しらね	神奈川県厚木市
4	ルームエアコン	木曜クラブ	神奈川県藤沢市
5	工業用ミシン	ひのき会	神奈川県平塚市
6	空き缶圧縮機	げんき	神奈川県横浜市
7	スチールロッカー(9人用、6人用)	わいわいクラブ	神奈川県横浜市
8	遠赤外線電気式焼き芋機	コスマス	千葉県大網白里市
9	大型冷蔵庫	どんぐり工房	千葉県四街道市
10	ルームエアコン	礎	千葉県船橋市
11	電動ハイロードベッド、赤外線灯、機械卓子2段	ポコアポコ	千葉県柏市
12	カンバッジマシーン、パソコン1台	エル・フォー	埼玉県深谷市



助成

●Get in touch! 2014

日程 平成26年5月10日(土)～11日(日)
場所 テレビ朝日多目的スペース umu(東京都港区)
主催 (一社) Get in touch

●第8回 全東京ろう社会人軟式野球TDリーグ戦

日程 平成26年5月11日(日)～8月31日(日) 全5回
場所 平野野球場(東京都足立区) ほか
主催 全東京ろう社会人軟式野球連盟

内閣総理大臣杯争奪

●第42回 日本車椅子バスケットボール選手権大会

日程 平成26年5月17日(土)～18日(日)
場所 東京体育館(東京都渋谷区)
主催 (一社)日本車椅子バスケットボール連盟、(公財)日本障害者スポーツ協会、(公財)日本バスケットボール協会
後援 厚生労働省、文部科学省、東京都、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●第30回 DPI(障害者インターナショナル)日本会議全国集会

日程 平成26年6月14日(土)、15日(日)
場所 静岡市清水文化会館(静岡県静岡市)
主催 (特)DPI日本会議、第30回DPI日本会議全国集会 in 静岡実行委員会
後援 内閣府、外務省、厚生労働省、国土交通省、文部科学省 テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●第62回 全国盲人福祉施設大会

日程 平成26年6月26日(木)、27日(金)
場所 ヒルトン福岡シーホーク(福岡県福岡市)
主催 (福)日本盲人社会福祉施設協議会
後援 厚生労働省、福岡県、(福)福岡県社会福祉協議会、(福)日本盲人福祉委員会、(福)読売光と愛の事業団、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●むさしの会サマーキャンプ

日程 平成26年8月1日(金)～3日(日)
場所 松乃井(群馬県みなかみ町)
主催 むさしの会

後援 助成

●チャレンジキャンプ

日程 平成26年8月11日(月)～14日(木)
場所 HCC(ヒゲッチキャンプグラウンド)(埼玉県児玉郡)
主催 児童養護施設カルテット

後援 助成

●第37回 わらじの会 夏合宿

日程 平成26年8月22日(金)～24日(日)
場所 ホテルおおるり(群馬県草津町)
主催 わらじの会

助成

●日本車椅子バスケットボール連盟 第11回 ジュニア選手育成講習会

日程 平成26年8月28日(木)～8月31日(日)
場所 国立乗鞍青少年交流の家(岐阜県高山市)
主催 (一社)日本車椅子バスケットボール連盟 強化指導部

後援 助成

●第31回 全国高校生の手話によるスピーチコンテスト

日程 平成26年8月30日(土)
場所 有楽町朝日ホール(東京都中央区)
主催 (一財)全日本ろうあ連盟、朝日新聞社、
(福)朝日新聞厚生文化事業団
後援 厚生労働省、文部科学省、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

後援



●第18回 電動車椅子サッカー関東大会

日程 平成26年9月23日(火・祝)
場所 郡士の森総合体育館(東京都府中市)
主催 関東ブロック電動車椅子サッカー協会
後援 日本電動車椅子サッカー協会、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

後援 助成



●第39回 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会

日程 平成26年10月10日(金)～12日(日)
場所 愛知県口論義運動公園(愛知県日進市) ほか
主催 全日本ろう社会人軟式野球連盟

後援 助成

後援 助成

●第29回 全日本視覚障害者柔道大会

日程 平成26年11月24日(月・休)
場所 講道館(東京都文京区)
主催 (特)日本視覚障害者柔道連盟
後援 厚生労働省、東京都、全国盲学校長会、
テレビ朝日福祉文化事業団 ほか



●わんぱくクラブ育成会「トワ・エ・モワ コンサート」

日程 平成26年12月13日(土)
場所 世田谷区民会館(東京都世田谷区)
主催 (特)わんぱくクラブ育成会
後援 世田谷区、世田谷区教育委員会、世田谷区社会福祉協議会、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

後援

●第16回 ウィルチェアラグビー日本選手権大会

日程 平成26年12月19日(金)～21日(日)
場所 千葉ポートアリーナ(千葉県千葉市)
主催 日本ウィルチェアラグビー連盟
後援 千葉市、(公財)日本障害者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、
(公財)日本ラグビーフットボール協会、テレビ朝日福祉文化事業団

後援 助成

●第52回 「弘済学園 わたしたちが創る展」

日程 平成26年12月22日(月)～24日(水)
場所 J R東京駅丸の内北口地下 動輪の広場(東京都千代田区)
主催 (公財)鉄道弘済会、(福)東京都社会福祉協議会
後援 テレビ朝日福祉文化事業団 ほか
特別協力 (株)石原プロモーション



後援

厚生労働大臣杯争奪

●第44回 全国身体障害者スキーフェスティバル

日程 平成27年3月5日(木)～7日(土)
場所 水上宝台樹スキー場(群馬県みなかみ町)
主催 (公財)日本障害者スポーツ協会、(公財)日本身体障害者スキー協会、(特)日本障害者スキー連盟

後援 助成

●第30回 関東大会(身体障がい者スキー)

日程 平成27年3月13日(金)～15日(日)
場所 丸沼高原スキー場(群馬県片品村)
主催 (公財)日本身体障害者スキー協会 ほか

後援 助成

●第6回はーとふるメッセ実りの集い～はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー2014～

後援 助成

「第6回はーとふるメッセ実りの集い」が、イオンモール幕張新都心 グランドモール グランドコートで開催されました。千葉県内で働く障がい者の仕事に光を当て、工賃向上の必要性をアピールとともに、地域での一人ひとり豊かな社会参加を目指しています。障がい者福祉関係者の他、イオンモール幕張新都心に来場した方々に向け、パネル展示、授賞式、講演ライブを行い情報を発信しました。

今年度は、障がい者事業所の最も優れた製品に対して「はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー」の称号が贈られました。食品部門・非食品部門を設け、年間を通して優れた製品を選定し、大賞、奨励賞、審査員特別賞が贈呈されました。今回の出品数は28品。当事業団は、非食品部門に＜テレビ朝日福祉文化事業団大賞＞を贈呈していますが、今年度は“ワークショップくすのき”「本牛皮小銭入れ」に大賞を授与しました。“くすのき”的品は度々候補に挙がっていましたが、緻密な文様作りがそのたびに精度を増しており、素晴らしい商品として審査員の方々に評価されました。

食品部門の大賞＜千葉ロッテマリーンズ大賞＞は、“就労継続支援はあもにい”「はにいシロップミニボトル3種セット」に授与されました。千葉県内で採取した3種が小瓶に入ったもので、利用者が蜂の世話を



第6回はーとふるメッセ実りの集い表彰式

をして蜂蜜を取り、瓶詰め、シール張りをして美しい製品に仕上がっています。

受賞は、食品部門4団体、非食品部門4団体の計8団体でした。この賞が、障がいを持った人たちが地域で暮らす上で、少しでも支えに繋がればと思います。

日 程	平成27年3月24日(火)
場 所	イオンモール幕張新都心(千葉県千葉市)
主 催	千葉県、千葉県障害者就労事業振興センター
後 援	千葉ロッテマリーンズ、テレビ朝日福祉文化事業団ほか

その他の福祉事業・団体への支援

●プロ野球ヤクルト戦入場券プレゼント

助成

神宮球場で行われるプロ野球ヤクルト戦のBOX席の入場券を、(福)東京都社会福祉協議会 東京善意銀行を通じて毎年プレゼントしています。今年度は、精神障害者地域生活支援センターや通所作業所、就労移行支援センター、知的障害者入所更正施設など、東京都内の障がい者施設などの118施設にプレゼントしました。

●第63回 東京都社会福祉大会

協賛

日程 平成26年12月19日(金)

場所 東京都庁第一本庁舎 5階 大会議場(東京都新宿区)

主催 東京都、(福)東京都社会福祉協議会、(福)東京都共同募金会

*高齢者福祉

●高齢者施設訪問



こまどり姉妹

特別養護老人ホームやデイサービスセンターなどの高齢者施設をプロの歌手が訪問し、高齢者の皆さんに楽しい時間を過ごしていただこうというのがこの高齢者施設訪問です。

昭和62年に施設訪問が始まってから、合計176回



大津美子



原田直之



園まり

① 日 程	平成26年4月11日(金)
会 場	志村ハイライフ(板橋区)
ゲスト	大津美子(歌手)

⑥ 日 程	平成26年8月13日(水)
会 場	秋月(練馬区)
ゲスト	こまどり姉妹(歌手)

⑪ 日 程	平成26年12月10日(水)
会 場	サンシャインビラ(福生市)
ゲスト	園まり(歌手)

② 日 程	平成26年6月4日(水)
会 場	潮見老人ホーム(江東区)
ゲスト	こまどり姉妹(歌手)

⑦ 日 程	平成26年9月12日(金)
会 場	こもれび(横浜市)
ゲスト	園まり(歌手)

⑫ 日 程	平成27年2月18日(水)
会 場	恵比寿苑(三鷹市)
ゲスト	こまどり姉妹(歌手)

③ 日 程	平成26年6月25日(水)
会 場	あさひ苑(府中市)
ゲスト	園まり(歌手)

⑧ 日 程	平成26年10月21日(火)
会 場	正吉苑(渋谷区)
ゲスト	大津美子(歌手)

⑬ 日 程	平成27年2月24日(火)
会 場	清心苑(江戸川区)
ゲスト	大津美子(歌手)

④ 日 程	平成26年7月9日(水)
会 場	和光園(多摩市)
ゲスト	大津美子(歌手)

⑨ 日 程	平成26年11月7日(金)
会 場	クローバー(日野市)
ゲスト	原田直之(民謡歌手)

⑭ 日 程	平成27年3月17日(火)
会 場	ハトホーム(東村山市)
ゲスト	園まり(歌手)

⑤ 日 程	平成26年7月18日(水)
会 場	いずみの苑(板橋区)
ゲスト	原田直之(民謡歌手)

⑩ 日 程	平成26年11月19日(水)
会 場	高砂園(葛飾区)
ゲスト	こまどり姉妹(歌手)

⑯ 日 程	平成27年3月23日(月)
会 場	けやきの苑・西原(渋谷区)
ゲスト	こまどり姉妹(歌手)

●第16回 クプナ・フラ・フェスティバル

共催 助成

「クプナ・フラ・フェスティバル」は、高齢者が生きがいを持っていつまでも元気に社会や地域で活動し、楽しく仲間づくりに参加できる機会として企画され、1999年国連が提唱した国際高齢者年の記念事業としてスタートしました。この第1回が大きな反響を呼んで高く評価され、各方面からの開催の要望を受けて今回に到っています。

今年度は、19組385名のクプナ（ハワイ語で「年配者」の意味）が集まり、日ごろの練習の成果を披露しました。

オープニングは、ゲスト歌手のコディ・ペエオ・パタが客席から登場、歩きながら「神への祈り」の唄をアカペラで歌って舞台上を清め、クプナ・フラの祭典の幕が上がりました。

参加者の中には80歳を超える方も多く、最高齢は86歳のクプナ。華やかな衣装に身を包んで優雅に踊る、長い人生経験を重ねてきたクプナならではのフラ（フラダンス）は、多くの観客の皆さんを魅了しました。



コディ・ペエオ・パタとマリア・ピーターセンのゲストショー



華やかな衣装に身を包みフラを披露

また、ゲストショーでは、コディ・ペエオ・パタとフラダンサーのマリア・ピーターセンが素晴らしい歌声と踊りを披露しました。

なお、「クプナ・フラ・フェスティバル」に参加したハーラウ（フラ教室）の代表者にはハワイ州知事から感謝状が贈られました。

日程 成26年6月27日、28日

場所 中野サンプラザホール（東京都中野区）

主催 クプナ・フラ・フェスティバル運営委員会

共催 テレビ朝日福祉文化事業団、
(公財)日本チャリティ協会

後援 東京都、(公財)全国老人クラブ連合会、(公社)東

京都老人クラブ連合会、高齢社会NGO連携協議会、
ハワイ州観光局



19組385名のクプナ（ハワイ語で年配者の意味）が参加する大フェスティバル

●けやき坂カルチャー教室

けやき坂カルチャー教室は、高齢者の皆さんに文化活動を通じて楽しみながら生きがいを見つけ友達作りをしてもらうため、六本木ヒルズのテレビ朝日にある多目的スペース「umu」で開催している趣味の講座です。

教室のはじめには皆で手話を学習する時間を持っています。皆さん身体を動かし、口を動かし楽しいひと時になります。こうした時間を持つことで障がいの方への理解を深める一助になればと考え実施しています。

このカルチャー教室では、特殊な加工によって生花のように咲き続けるプリザーブドフラワー、粘土を捏ねて人形の形を作り、レースと布を貼り付けて飾って焼く、豪華な陶器のレースドール、立体的な額装を作るデコラティブアレンジメント、ペンや筆を使い写経など書くことを楽しむ書道、アクセサリーに最適なアートクレイシルバー、皿やグラスに絵付けをするチャイナペイント、カルトン（厚紙）にお気に入りの布を貼って世界に一つのオリジナルBOXを作成するカルトナージュの7つの講座を開催しています。



プリザーブドフラワーの作品



カルチャー教室開始前の手話学習

毎回40～50人が1つのスペースで7種類の講座を学ぶという一風変わった教室ですが、次は別の講座を受けてみようなどいろいろ楽しむこともできます。また、受講生同士も親しくなり、教室が終わつたあとにお茶を楽しんだり、旅行に出かけたりと交流を深め、お互いに刺激を受けながら創作活動に励んでいます。

日程 平成26年度 10回開催

講座 レースドール、プリザーブドフラワー、書道、アートクレイシルバー、デコラティブアレンジメント、チャイナペイント、カルトナージュ

場所 テレビ朝日 多目的スペース「umu」（東京都港区）

受講生 40～50人（毎回）

主催 さわやかグループ

共催 テレビ朝日福祉文化事業団

●ポポロファミリー童謡チャリティコンサート

- ① 日程 平成26年6月28日（土）
場所 ルネこだいら（東京都小平市） 中ホール
- ② 日程 平成26年7月11日（金）
場所 ハミングホール（東京都東大和市） 小ホール

主催 日本と世界の愛唱歌をうたう会

●第6回 国際シニア合唱祭 ゴールデンウェーブ in 横浜 開催

特別
後援
助成

「ゴールデンエイジ！」、この言葉は人生の豊かさ、優しさを育む響きを持っています。大航海を無事乗り越えてきた悠々とした風格をも感じさせます。そんなゴールデンエイジの仲間たちの輪を合唱という大きな響きにして横浜から発信しようと、国際シニア合唱祭「ゴールデンウェーブ in 横浜」は、2008年4月横浜開港150年記念行事の一環としてスタートしました。このイベントは、様々な形で社会に貢献してきた高齢者たちが、健康で生き甲斐のある“生涯現役”的な生活を送るための一助として、音楽を志す誰もが憧れ、夢見る「横浜みなとみらいホール」で開催されています。

今年度は、北は岩手県から南は長崎県まで国内76グループ、海外から台湾、フランスの3グループ、計79グループ2941人が参加し、爽やかなシニアの歌声が、港町横浜の「みなとみらいホール」に響き渡りました。フィナーレにはフランスの混成合唱団



衣装や小道具も工夫を凝らして



海外から3グループが参加

が「オーシャンゼリゼ」やロシア民謡、日本の歌「故郷」などを熱唱しました。司会は、元テレビ朝日アナウンサーの朝岡聰さんが務めました。イベントの輪の中心となり、フットワークよく活躍されていた実行委員長吉田奈美子さんの他、90歳以上の参加者も26人にのぼり、会場に元気を振りまいていました。

日 程	平成26年4月14日(月)、15日(火)
場 所	横浜みなとみらいホール(神奈川県横浜市)
主 催	横浜みなとみらいホール、 ゴールデンウェーブ実行委員会
後 援	神奈川県、横浜市ほか
特 別 後 援	テレビ朝日福祉文化事業団、 朝日新聞厚生文化事業団



横浜みなとみらいホールに76グループ2941名が国内外から参加

* 平成26年度事業一覧

No	事業名	名義
児童	児童養護施設で生活する高校生の海外生活体験の旅	主催
	第3回 子どもキラット！楽演祭	主催
	第2回 農村ホームステイ体験の旅	主催
	江戸っ子杯争奪東京都児童福祉施設競技大会2014 野球の部	共催・助成
	児童福祉施設職員のためのワークショップ	共催・助成
	第59回 全国里親大会 おかやま大会	共催・助成
	第56回 慈彩会展	後援・助成
	第60回 関東甲信越静里親研究協議会 静岡大会	後援・助成
	こどもの国 ジャンボカルタ取り大会・どんど焼き	後援・助成
	第9回 「家族週間」子育て童謡コンサート	後援名義
	「憩いの家」資金バザー	後援名義
	日本児童養護実践学会第7回研究大会	後援名義
	母子	母子のためのテレビ朝日見学体験ツアー
障がい者	第6回 トウレヴァン コンチャルト	主催
	第37回 車椅子バスケットボール秋季大会	共催・助成
	第38回 ハンディスキー全国親善大会	共催・助成
	Get in Touch ! 2014	後援・助成
	第8回 全東京ろう社会人軟式野球T Dリーグ戦	後援・助成
	内閣総理大臣杯争奪第42回日本車椅子バスケットボール選手権大会	後援・助成
	第30回 DPI(障害者インターナショナル)日本会議全国集会	後援・助成
	チャレンジキャンプ	後援・助成
	日本車椅子バスケットボール連盟第11回ジュニア選手育成講習会	後援・助成
	第18回 電動車椅子サッカー関東大会	後援・助成
	第39回 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会	後援・助成
	第29回 全日本視覚障害者柔道大会	後援・助成
	第16回 ウィルチェアーラグビー日本選手権大会	後援・助成
	厚生労働大臣杯争奪第44回全国身体障害者スキー大会	後援・助成
	第30回 関東大会(身体障がい者スキー)	後援・助成
	第6回 はーとふるメッセ実りの集い～はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー2014～	後援・助成
	障害者施設などに対する設備助成	助成
	むさしの会サマーキャンプ	助成
	第37回わらじの会 夏合宿	助成
	第62回 全国盲人福祉施設大会	後援名義
高齢者	第31回 全国高校生の手話によるスピーチコンテスト	後援名義
	わんぱくクラブ育成会「トワ・エ・モワ コンサート」	後援名義
	第52回「弘済学園 わたしたちが創る展」	後援名義
	高齢者施設訪問	主催
	第16回 クブナ・フラ・フェスティバル	共催・助成
その他	けやき坂カルチャー教室	共催
	ボボロファミリー童謡チャリティコンサート	後援・助成
	第6回 国際シニア合唱祭「ゴールデンウェーブ in 横浜」	特別後援・助成
	プロ野球ヤクルト戦入場券プレゼント	助成
	第63回 東京都社会福祉大会	協賛名義

*平成26年度会計報告

●平成26年度収支報告 自：平成26年4月1日 至：平成27年3月31日 (単位：円)

科目	金額
収入の部	寄附金収入 31,491,937
	基本財産基金利子収入 0
	運用財産基金利子収入 1,440,535
	運用財産利子収入 46,544
	運用財産基金取崩収入 25,000,000
	雑収入 0
当期収入合計(A)	57,979,016
前期繰越額(B)	22,217,698
収入合計(A)+(B)	80,196,714
支出の部	事業費 38,381,394
	児童福祉費 11,743,728
	高齢者福祉費 7,215,494
	障がい者福祉費 16,941,294
	母子福祉費 279,783
	広報費 2,070,555
	緊急援護活動支援費 540
	フィリピン台風被災者支援費 130,000
	事務費 2,206,909
	人件費 7,660,962
	退職給与引当額 642,760
	租税公課 200
当期支出合計(C)	48,892,225
当期収支差額(A-C)	9,086,791
次期繰越額(A+B-C)	31,304,489

●貸借対照表 平成27年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債・純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	41,101,651	流動負債	320,162
現金	90,170	預り金	72,808
預金	40,772,218	未払金	247,354
仮払金	239,263	固定負債	9,477,000
		退職給与引当金	9,477,000
		負債合計	9,797,162
固定資産	1,000,000,000	基金	1,000,000,000
基本財産	100,000,000	基本財産基金	100,000,000
預金	100,000,000	運用財産基金	900,000,000
運用財産	900,000,000	次期繰越額	31,304,489
預金	900,000,000	当期収支差額	9,086,791
		前期繰越額	22,217,698
		純資産合計	1,031,304,489
資産合計	1,041,101,651	負債及び純資産合計	1,041,101,651

*その他

●平成26年度 ご寄付者の報告

企業・団体・個人の皆さまからご寄付をいただきました。心から御礼申しあげます。

寄付金合計 31,491,937円

★一般寄付（敬称略・順不同）

個人 3名

企業・団体 51社・団体

アラコム(株)、(株)伊佐梅、(株)インターナショナルクリエイティブ、(株)大塚商会、(株)関電工、九州巨人軍愛好会、(株)コマデン、(株)笹谷商事、三建設機械工業(株)、(株)サンフォニックス、(株)シービーエス、城南質屋協同組合、新日本プロレスリング(株)、ダイダン(株)、(株)台東サービス、(株)竹中工務店、中央ろうきん社会貢献基金、(株)東京サウンド・プロダクション、東京綜合警備保障(株)、(株)東京美術、東京原宿ライオンズクラブ、東京六本木ライオンズクラブ、東京労働者福祉協議会、(株)テルミック、(株)テレフィット、西宮神社だるま会、日本歯科衛生協会、日本郵政グループ労働組合東京地方本部、(公財)原田積善会、富士ゼロックス(株)、(株)富士通、(株)ミヤギ、横浜エレベーター(株)東京支店、リゾートトラスト(株)、(株)テレビ朝日、(株)ビース朝日、(株)シーエス・ワンテン、テレビ朝日映像(株)、(株)テレビ朝日サービス、(株)フレックス、(株)テレビ朝日ミュージック、(株)ビデオ・パック・ニッポン、(株)放送技術社、(株)ロッピングライフ、(株)テイクシステムズ、(株)トラストネットワーク、(株)テレビ朝日クリエイト、(株)テレビ朝日アスク、(株)テレビ朝日ベスト、(株)文化工房 ほか

★物資などのご協力 1社

(株)テレビ朝日

●テレビ朝日ドラえもん募金「フィリピン台風被災者支援」最終報告

テレビ朝日では、2013年11月8日にフィリピン共和国を襲った台風30号の被災者を支援するために「ド라えもん募金」を実施いたしました。おかげさまで全国の皆様からダイヤルQ 2を通じて、1842万412円の募金をお寄せいただき、これにテレビ朝日に設置された募金箱やテレビ朝日などからの寄付金を加えた総額は、最終的に2255万412円となりました。

募金は、確実・有効に被災者支援にあてられるよう、テレビ朝日福祉文化事業団を通じて特定非営利活動法人国際連合世界食糧計画WFP協会に955万412円、特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォームに700万円、日本赤十字社に600万円総計2255万412円を寄託をいたしました。なお、このうち2000万円につきましては、2013年12月13日(金)に、また残額は2014年12月18日(木)に寄託を行ないました。

皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

●テレビ朝日福祉文化事業団 役員・評議員

(平成27年3月24日現在)

役職名	氏名	職業
理事長 評議員	早河 洋	株式会社テレビ朝日 代表取締役会長兼CEO
副理事長 評議員	角南 源五	株式会社テレビ朝日 常務取締役
理事 評議員	高橋 利一	社会福祉法人至誠学舎立川 理事長 法政大学名誉教授
理事 評議員	石野 清治	社会福祉法人同愛記念病院財団 会長
理事	山崎 哲男	弁護士 日比谷見附法律事務所 東京六本木ライオンズクラブ
理事	岩尾 総一郎	医療法人社団茅ヶ崎セントラルクリニック 理事長・院長 医学博士 慶應義塾大学医学部客員教授
評議員	梅木 孝夫	広友ホールディングス株式会社 代表取締役 東京六本木ライオンズクラブ
評議員	宮沢 成実	元社会福祉法人東京都社会福祉協議会 総務部企画担当
評議員	岩崎 浩三	特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会 理事
評議員	根本 保	元株式会社ビース朝日 常勤監査役
評議員	岸田 駿	一般社団法人日本民生文化協会 理事
評議員	東 ちづる	女優
評議員	大井屋 健治	社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団 事務局長
評議員	椎橋 敏	公益財団法人原田積善会 専務理事
評議員	香山 敬三	株式会社テレビ朝日 経理局長
監事	平田 和子	税理士 平田和子税理士事務所
監事	若穂井 透	弁護士 日本社会事業大学専門職大学院客員教授

[ご寄付のお願い]

テレビ朝日福祉文化事業団の活動は、皆さまからのご寄付によって支えられています。当事業団へのご寄付は、特定寄付金となります。個人の場合は所得税の寄付金控除として、法人の場合は法人税の損金算入の対象となります。ご寄付は、当事業団が実施する児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、母子福祉ほかさまざまな社会福祉事業へ充てさせていただきます。

なお、ご寄付の方法は下記のとおりです。

記

■郵便振替

口座番号 00110-6-761778

口座名(加入者名)「こころの樹」

※通信欄に「寄付金」とご記入ください。

■現金書留で郵送

〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1 森タワー16階

テレビ朝日福祉文化事業団 行

*連絡先を同封してください。領収書をお送りいたします。

■銀行振込希望の方は、事務局へご連絡ください。

電話 03-6406-2195 FAX 03-3405-3797

テレビ朝日福祉文化事業団 事業報告

平成26年度(2014年度)

年報 こころの樹

発行人 佐藤佳則

平成27年(2015年)5月29日発行

社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団

〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1 森タワー16F

TEL 03-6406-2195 FAX 03-3405-3797

<http://www.tv-asahi.co.jp/fukushi/>

E-mail : fukushi@tv-asahi.co.jp

※文中の役職等は、その時点での表記といたします。

※無断転載は禁じます。

copyright© tv-asahi welfare foundation All rights reserved